

## 2008年度 フィールドスタディーA 報告

大村真樹子

### 1. 担当教員の実施報告：

2008年度フィールドスタディーAは2008年9月9日から20日まで全12日間の日程で、「ハワイの環境問題」をテーマに17名の学生がそれぞれ独自のトピックに取り組んだ。

ハワイ大学の教授陣、関連省庁の研究者や現地NGOスタッフの方々の講義10回とフィールド視察4回を含むプログラムであった。講義内容は経済学的側面のみならず、陸生生物学、海洋生物学、沿岸管理、種の保存、環境と文化、気候変動対策、環境政策等、ハワイの環境問題を多面的な視点から捉える多様性に富むものであった。さらにフィールド視察を通し、ハワイの生物多様性、種の保存、地球温暖化対応策、環境と観光業の両立等への取り組みを、直に知る機会を得た。また、最初の3日間は現地の英語に慣れるため、英語講座に参加した。

フィールドスタディーの準備段階ともなる、本校における事例研究Aの講義では遅刻・私語の多かった学生もおり心配したが、フィールドスタディー全行程を通して全員一度の遅刻もなく、講義や視察では積極的に質問をするなど、真剣に取り組み、学ぶものも多かったようである。ご協力頂いた講師や関係者の方々からもポジティブなコメントを頂戴した。ハワイで直に環境問題に触れることで、日本での環境問題や、今後自分達に出来ること等を考える良い機会ともなったようである。また、現地の学生の研究発表も学生にとって良い刺激となった。このフィールドスタディーで得た知識や経験、調査やレポート作成を通して学んだことを、是非今後の学習や生活にも生かして欲しいと願っている。

今回はワイキキに滞在したが、1部屋約4名の共同生活で自炊をし、現地での生活にも直ぐに慣れたようだ。自由時間ではワイキキ・ビーチで水遊びをしたり、全員でバーベキューパーティーやイタリアンレストランでの「最後の晚餐」を楽しんだり、忙しい中にも非常に充実した12日間であった。私自身は今回が初めてのフィールドスタディーであったが、協力して下さった関係者の方々や学生達の努力のお陰で、全員無事に且つ有意義にプログラムを終えることができ、感謝申し上げたい。また、最終日の皆からの素敵なサプライズには感謝！

2.

写真



1 & 2. 英語講座修了式で学生発表



3&4. 英語講座修了式で歌を披露



5&6. Lyon Arboretum 植物園でハワイ固有種を背景に





7&8. Waimea Valley でハワイ伝統文化と環境を学ぶ



9&10. Waimea 湾で



11. ハナウマ湾で海洋資源保全と海面上昇の講義 12. ハナウマ湾





13&14. ハワイ海洋生物学研究所で海洋生物に触れ、資源保護についてのレクチャーを受ける



15&16. ハワイ海洋生物学研究（ココナッツ島）を背景に



17&18. バーベキューパーティー



19. 気候変動の経済学の講義



20. フィールドスタディー終了パーティー後



21. 最後の晚餐



22. お疲れ様～@ホノルル空港